

## 臨床の詩学

春日武彦



意外で、突飛で、切実な。

患者が研究家と化した言葉、  
医療者の中で暮らした言葉が、  
言葉をどうと動かすことがある。

医学書院

## 臨床の詩学

著：春日武彦／医学書院

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「序 わたしが精神科医でいられる理由」を開き、患者とのやり取りや、エピソードを読むうちに、ついつい引き込まれてしまう“春日ワールド”。琴線に触れた詩のかけらの1つひとつを味わい、咀嚼し、自らのものとして患者に手渡す。そして患者からは、「意外で、突飛で、切実な」(帯より)一言が返され、著者はまたその言葉を吟味する。臨床のよろこびとやるせなさのたっぷり詰まった1冊。

ケアする人も楽になる

## 認知行動療法入門 BOOK 1

著：伊藤絵美／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■ケアを仕事とする人たちが少しでも楽にしたい、との気持ちで書かれた認知行動療法＝CBTのテキスト。引かれた事例に、「ある、ある」「いる、いる」「私だったら……」と、CBTの技法を取り入れている自分に気づくはず。自らのストレスを軽減してこそ“よりよい看護”の提供が可能になる。より具体的な事例と新たな手法を紹介するBOOK2と合わせて活用したい。

ケアする人も楽になる

## 認知行動療法入門



これからCBTに  
取り組もうと思う人に  
ぴったりの本!

本書は、認知行動療法(CBT)の基礎となる考え方、技法をわかりやすく解説し、実践的な事例を豊富に紹介しています。認知行動療法は、認知、感情、行動の三者が相互に影響を及ぼし合っているという考え方に基づいて、認知の歪みを修正し、感情を安定させ、行動を変化させることで、心の問題を解決する方法です。

## 看護にいかすリーダーシップ

第2版

ティーチングとコーチング、  
場面对応の体験学習

諏訪茂樹



「わかる」だけでなく「できる」を目指して

本書は、リーダーシップについて、知識として頭でわかっただけでなく、実践を通して体験的に学び、スキルを習得していきけるよう工夫しました。  
ティーチングとコーチングの使い分けなど、21世紀型のリーダーシップを実現します。

医学書院

## 看護にいかすリーダーシップ 第2版

ティーチングとコーチング、場面对応の体験学習

著：諏訪茂樹／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「リーダーシップは(中略)管理職やチームリーダーだけではなく、スタッフの一人ひとりに求められる能力」(初版の序より)で目からウロコだった、『看護にいかすリーダーシップ』が、進化して再登場。看護界におけるリーダー像の多様化を踏まえ、「逆さまのピラミッドで必要とされる新しいリーダーシップ」を実現するため、ティーチングとコーチングを使い分ける、体験学習のテキスト。

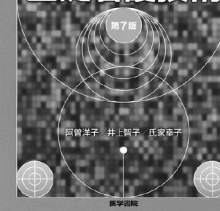
## 基礎看護技術 第7版

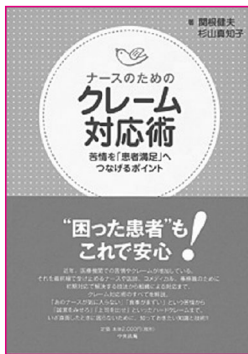
著：阿曾洋子・井上智子・氏家幸子／医学書院

定価：5,040 円(本体 4,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■初版からおおよそ30年、第7版の筆頭執筆者は、初版から本書執筆に力を注いできた氏家幸子氏の教え子、阿曾洋子氏である。時代の変化に沿って書き継がれ、そして読み継がれてきた本書。第7版では、より急性期に特化されつつある診療の補助項目の見直しを図り、療養病床や在宅療養において求められる日常生活の援助技術について詳述する。身につけたい基礎看護技術のすべてがこの1冊に。

## 基礎看護技術





## ナースのためのクレーム対応術

苦情を「患者満足」へつなげるポイント

著：関根健夫・杉山真知子／中央法規

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3379-3861

■本書の核心は、「正しいことは、相手がわかってくれて意味を持つ」「(まえがき)より」という考え方にある。「サービスは受ける側の評価がポイント」という視点から、患者、つまり医療サービスの利用者のクレームや誤解、さらには提供者側の態度や思い込みに焦点を当て、具体的な解決策や、回避方法を、個別対応から組織の取り組みについてまで展開する。患者満足が一番のクレーム対策となるのだ。

## 知がめぐり、人がつながる場のデザイン

働く大人が学び続ける“ラーニングバー”というしくみ

著：中原淳／英治出版

定価：1,680 円(本体 1,600 円＋税)／TEL：03-5773-0193

■多領域の人との語らいから、個人的にも仕事のうえでも大きな示唆をもらうことがある。本書は、社会人となった人たちのための学びの場，“ラーニングバー”の設定と、その場が生み出す、心地よい知的空間のプロデュースの方法——デザイン——を教えてくれる。組織の中に、組織の外に、学びが交差し、かつ学びから解放される場を創ることで、「知」の連鎖を実感し、自分にチェンジを！

知がめぐり、  
人がつながる場のデザイン  
働く大人が学び続ける“ラーニングバー”というしくみ

東京大学教養部 中原淳

勉強会、講演会、セミナー、イベント、ワークショップ……  
新しい知識を学ぶための「学びの場」を  
“プロデューサー”たちへ

ラーニングバーとは、  
「対話」である。  
「振り返り」である。  
「良質の問いかけ」である。  
「ゆるやかなつながり」である。  
「学び続けるしくみ」である。

そして、そこには、知がめぐる



## 教育問題はなぜまちがって語られるのか？ 「わかったつもり」からの脱却

著：広田照幸・伊藤茂樹／日本図書センター

定価：1,575 円(本体 1,500 円＋税)／TEL：03-3947-9387

■新聞やテレビで「大問題」として取り上げられる教育問題について、「これってホント！？」の視点から、情報やデータを鵜呑みにせず、多角的に考えようと警鐘を鳴らす。「この本は、いわば『へそまがりのすずめ』…(中略)…全体の様子が見えてこそ、ちゃんとした批判や問い直しができるはず」(あとがきより)。教育問題に限らず、何かを判断するときは常に、この問いかけを思い出したい。

## これからの 退院支援・退院調整

ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域

編：宇都宮宏子・三輪恭子／日本看護協会出版会

定価 2,730 円(本体 2,600 円＋税)／TEL：03-5778-5640

■患者にとって「非日常」である入院生活。その日々に寄り添うジェネラリストナースに向けて、退院後の「日常生活」を見据えた看護を！と呼びかける。退院支援・在宅療養の成否は、入院中のジェネラリストの関わりに大きく左右される。それはなぜなのか、どうしたらうまくいくのか。着眼点、アプローチの方法、情報収集、資源のつなぎ方など、有効な支援を具体的に解説する。

